

令和3年6月1日

市政記者クラブ 様

スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ戦略室  
担当 近藤、棚橋 電話 972-3294

## 名古屋市スポーツ戦略（案）に対する意見募集について

スポーツにより地域の活性化や都市ブランドの向上を図ることで、にぎわいあふれ、市民が誇りを持てる都市を推進するための「名古屋市スポーツ戦略(案)」を策定しました。

市民の皆さまからの声を反映させて「名古屋市スポーツ戦略」を策定していきますので、ご意見をお寄せください。

### 1 案の公表及び意見募集期間

令和3年6月1日（火）～令和3年6月30日（水）

### 2 名古屋市スポーツ戦略（案）の入手・閲覧方法

(1) 名古屋市公式ウェブサイトからダウンロード

[トップページ](#) > [市政情報](#) > [パブリックコメント](#)

(2) 各区役所情報コーナー、各支所、市民情報センターなどで以下の資料を配布・閲覧

- ・名古屋市スポーツ戦略（案）概要版 （配布）
- ・名古屋市スポーツ戦略（案） （閲覧）

### 3 意見の提出方法

意見、氏名、住所をご記入のうえ、郵送、ファックス、電子メールでお送りいただくか、直接お持ちください。

### 4 意見の提出先・お問合せ先

名古屋市スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ戦略室

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1-1

電話 052-972-3294（お問合せ用）

ファックス 052-972-4417

電子メール a3294@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

# みなさまのご意見をお寄せください。

第20回アジア競技大会を一過性のスポーツイベントで終わらせるのではなく、スポーツの持つ幅広い価値を、本市を取り巻く課題の解決に活用する契機とし、スポーツにより地域の活性化や都市ブランドの向上を図ることで、にぎわいあふれ、市民が誇りを持てる都市を目指すため「名古屋市スポーツ戦略」の案を作成しました。

今後もみなさまと相互に連携をはかりながら戦略の推進をはかっていくため、名古屋市スポーツ戦略（案）に対するご意見をお寄せください。

## 名古屋市 スポーツ戦略（案） 概要版

令和3年6月名古屋市



意見募集対象

名古屋市スポーツ戦略(案)

意見募集期間

令和3年6月1日(火)から令和3年6月30日(水)まで

策定予定時期

令和3年8月頃

本編の閲覧  
及び  
概要版の  
配布

本編は以下の場所でご覧いただけます。概要版についても以下の場所で配布しております。

名古屋市公式ウェブサイトでもご覧いただけます。

- ・市民情報センター(市役所西庁舎1階)、区役所情報コーナー・支所
- ・スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ戦略室(市役所西庁舎12階)
- ・名古屋市公式ウェブサイト(<https://www.city.nagoya.jp/>)のパブリックコメントのページ

意見の  
提出方法

みなさまのご意見は、以下の提出先まで、「名古屋市スポーツ戦略(案)」についてのご意見であることを明記の上、氏名・住所を添え、郵送、ファックス、電子メールにてお送りいただくか、お持ちください。様式は自由です。

※電話または来庁による口頭でのお申し出につきましては、受付できませんのでご了承願います。

※みなさまのご意見につきましては、本市の考え方とあわせて公表する予定です。個別に回答はいたしませんのでご了承ください。

提出・  
問合せ先

名古屋市スポーツ市民局 スポーツ推進部 スポーツ戦略室(市役所西庁舎12階)

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

ファックス:052-972-4417 電話:052-972-3294

電子メール:[a3294@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp](mailto:a3294@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp)

対応時間:月曜日～金曜日(祝日及び年末年始を除く)の午前8時45分～午後5時30分

※個人情報の取扱いについて

- 1 個人情報の取扱いには十分注意し、意見公表の際は個人情報が特定できるような内容は掲載しません。
- 2 住所、氏名、電子メールアドレスなどについては、名古屋市個人情報保護条例に基づき、他の目的に利用・提供しないととも適正に管理します。

# 名古屋市スポーツ戦略 概要

## I. 策定の趣旨

本市においては、これまで年齢、性別、障害の有無等に関わらず、誰もが安心・安全・快適にスポーツに親しむことができることを目標として、「名古屋市スポーツ推進計画」を策定し、運動・スポーツを「する」「み」「ささえる」ことで市民のスポーツ実施率向上を目指したスポーツ振興を行ってきました。

こうした中、令和8(2026)年に開催予定の第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)を一過性のスポーツイベントで終わらせるのではなく、スポーツの持つ幅広い価値を、本市を取り巻く課題の解決に活用する契機としてと考えています。「2026 アジア競技大会 NAGOYA ビジョン」の示す4つのまちな姿(①健康・地域活力、②魅力・誇り、③国際交流・多様性、④イノベーション・持続可能性)の実現に向けた取り組みを進めるとともに、スポーツにより地域の活性化や都市ブランドの向上を図ること、にぜひあふれ、市民が誇りを持てる都市を目指すため、「名古屋市スポーツ戦略」を策定することとしました。

市民のスポーツ実施率の向上を目指す「名古屋市スポーツ推進計画」と、スポーツを活かして都市ブランドの向上と地域の活性化を目指す「名古屋市スポーツ戦略」により、本市のスポーツ振興を図ります。

## II. 計画期間

第20回アジア競技大会の開催及びその後を見据え、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間を計画期間とします。

## V. 戦略の柱

### 戦略1

#### 地域スポーツ振興戦略

- (1) 地域の活性化
- ① スポーツを活用した地域力の強化
  - ② 地元アスリートの区役所等での紹介
  - ③ スポーツ指導者の発掘・育成
  - ④ スポーツボランティア制度の充実
  - ⑤ アーバンスポーツの振興
- (2) 子どものスポーツの充実
- ① シュニアスポーツの交流促進
  - ② トップアスリートOB派遣の仕組みの構築
- (3) アクティブライフの推進・健康増進
- ① 名古屋発祥の生涯スポーツの底固
  - ② 企業の健康経営の促進

### 戦略2

#### スポーツを活かした都市活性化戦略

- (1) 官民連携の推進
- ① スポーツチームの推進
  - ② トップスポーツチームの地域貢献及び拠点の盛り上げ
- (2) 第20回アジア競技大会のモデルの構築・継承
- ① 大規模競技大会、スポーツイベントの誘致・開催
  - ② 大規模競技大会、スポーツイベントをきっかけとしたMICEの推進
  - ③ 大規模競技大会モデルの構築
  - ④ 国際大会や海外チームの合宿・キャンプを通じた交流促進
  - ⑤ テクノロジーを活用した環境整備
  - ⑥ 新技術のスポーツへの活用(DX)の促進

### 戦略3

#### アスリート・指導者等育成戦略

- (1) アスリートへの支援
- ① 市民がアスリートを支える機運の醸成
  - ② 有識者の競技臨向支援
  - ③ アスリート支援による都市ブランドの向上
  - ④ ジュニアアスリートサポートの充実
- (2) 指導者等の育成
- ① スポーツ指導者の発掘・育成(再)
  - ② 障がい者スポーツ指導員の育成
  - ③ スポーツボランティア制度の充実(再)

### 戦略4

#### 市民にやさしいスポーツ環境整備戦略

- (1) 障害者スポーツ等の振興普及振興
- ① 障害者スポーツ等の理解促進・普及振興
  - ② 障がい者スポーツ指導員の育成(再)
  - ③ 障害者が身近な場所ですportに親しむ機会を提供
  - ④ アスリートもパラアスリートもハワーマンスを発揮できる環境づくり
  - ⑤ 障害者スポーツセンターのあり方検討
- (2) 第20回アジア競技大会及びその後の活用を見据えた施設環境整備
- ① 大規模競技大会に向けた施設改修
  - ② 障害公園の整備
  - ③ トップアスリートを身近に感じられる陸上競技場の整備

### 戦略5

#### 情報発信戦略

- (1) 利用しやすい情報発信
- ① スポーツ関連ウェブサイトの集約
  - ② 市内関係大会等の情報発信
  - ③ スポーツレクリエーション情報システムの運用
- (2) 効果的な情報発信
- ① プロスポーツチームと連携した情報発信
  - ② 学生と連携したスポーツ魅力発信
  - ③ 大規模競技スポーツイベントを通じた機運醸成
  - ④ スポーツ情報センター・スポーツ資料展示室の充実

## III. 基本理念

### スポーツで名古屋の未来を照らす

人を惹きつける力、熱中させる力のあるスポーツを活かし、名古屋の明るい未来を描きます。スポーツにより地域の活性化や都市ブランドの向上を目指すことにより、にぎわいあふれ市民が誇りを持てる都市、活力ある都市を実現します。

## IV. 名古屋スポーツコミッション(仮称)による新たな取り組み

名古屋市の特色を活かしたスポーツによる地域の活性化、都市ブランドの向上スポーツ戦略を推進していくエンジンとしての役割を果たすスポーツコミッションの設立を目指します。スポーツコミッションは、大規模大会の誘致・開催支援やスポーツと文化・観光を掛け合わせ、新たな付加価値を創出するスポーツツーリズムの推進等を通じて、スポーツによる地域の活性化、都市ブランドの向上を目指します。

実現に資する

2026 アジア  
競技大会  
NAGOYA ビジョン

まちな姿1  
健康・地域活力

まちな姿2  
魅力・誇り

まちな姿3  
国際交流・多様性

まちな姿4  
イノベーション・  
持続可能性

## VI. 数値目標

(1) 世帯当たりのスポーツ関連消費額  
41,737円(2019年)→55,000円(2030年)

(2) 名古屋に「スポーツが盛んである」という  
都市イメージを持つ市民の割合  
37.7%(2020年度)→60.0%(2030年度)

(3) スポーツセンター等における障害者の  
利用人数(延べ人数)  
268,945人(2019年度)→350,000人(2030年度)

(4) ウェブサイト年間アクセス件数  
13,073件(2019年度)→200,000件(2030年度)  
(ウェブサイトを構築後見直し)